

11/29～12/11 ヒロシマ平和映画祭 2011 開催！

『Different Voices』～世界にうごめく無数のそれぞれの特異な声に耳をすます～  
約40本の映像作品とともに、見て、聞いて、対話する場を創造します

11月29日から12月11日まで、今年で四回目になるヒロシマ平和映画祭を開催いたします。今年のテーマは『Different Voices』。東日本大震災という未曾有の天災・人災におそわれた本年、世界中からの約40本の映像作品とともに、被災者たち、歴史の中に蠢くさまざまな現場や女性たちなどの表立ってはささやかれず、聞こえてこない「声」に対して耳をすませ、見て対話する場を創造します。

これまで取り組んできた核や科学の政治性の問題や、「無職と平和」、「オキナワ」などの特集に加え、女性監督の作品が多く女性色が強いのが特色です。また、上映期間中に多数の監督も来広し、各会場にてトークイベントやシンポジウムのほか、展示や朗読といったパフォーマンス・イベントも行います。

#### 【主な上映作品】

- ▼11/26～12/9 『テザ 慟哭の大地』(2008/140分 ハイレ・ゲリマ)、『グッド・ハーブ』(2010/120分 マリア・ノバロ)〈横川シネマにて先行上映〉
- ▼12/1 『イトー・ターリ パフォーマンス ひとつの応答 in 原爆ドーム前』(2010/62分 青原さとし) イトー・ターリさん「松井やよりジャーナリスト賞」受賞記念上映〈Space ZERO〉
- ▼第76回アカデミー賞ドキュメンタリー短編賞受賞作品『チェルノブイリ・ハート』(2003/61分 マリアン・デレオ)、イスラエル・アカデミー賞最優秀ドキュメンタリー賞受賞作品『いのちの子ども』(2010/90分 シュロミー・エルダール)〈サロンシネマ〉
- ▼『Atomic Mom』(2010/87分 M.T.シルヴィア)『The Forgotten Bomb』(2010/95分 Stuart Overbey + Bud Ryan)『AUGUST』(2011/83分 東美恵子)『黒い花』(仏：バティスト・ベゼット)＊ジャパンプレミア上映作品群(広島フィルムコミッション支援映画)
- ▼『ヒロシマ 1966』(1966/16mm版+35mm版修正完全版 白井更正)〈映像文化ライブラリー〉
- ▼『アンティゴネー』(1991/95分 ストローブ＝ユイレ)『ギフト』(2011/40分 奥間勝也)〈広島市立大学〉
- ▼『rap in tondo の長い予告編』空族制作ドキュメンタリー(2011年/60分 富田克也企画)、『花物語 バビロン』(1997/45分 相澤虎之助)〈横川シネマ〉
- ▼『さようなら UR』(2011/73分 早川由美子)『どんずまり便器』(2010/80分 小栗はるひ)『百合子、ダスヴィダーニヤ』(2011/102分 浜野佐知)〈横川シネマ〉 他多数、複数の会場にわたり一挙上映！

#### 【チケット】

- ・当日券 1000円(1プログラム) ＊学生はすべて半額になります
- ・一日通し券 3000円(12月3日西区民文化センタースタジオ、12月11日横川シネマで上映前に発売・当日のみ使用可)
- ・フリーパス 一万円(映像文化ライブラリー以外の全有料プログラム上映会場で使用できます)
- ・映像文化ライブラリー、横川シネマ、サロンシネマでの上映作品は、各劇場設定料金になります。
- ・広島市立大学講堂小ホール、広島市立大学広島平和研究所での上映は、すべて無料です。

会場：横川シネマ、サロンシネマ、spaceZERO、広島市映像文化ライブラリー、平和記念資料館メモリアルホール、広島市国際青年会館研修室、平和公園内レストハウス、西区民文化センタースタジオ、広島市立大学、広島市立大学広島平和研究所 等

主催：ヒロシマ平和映画祭実行委員会

共催：広島市立大学社会連携プロジェクト研究 映像作品を媒体とする記憶の継承の可能性の探究

広島フィルムコミッション、シャリバリ地下大学、Vaginaの会、横川シネマ、サロンシネマ  
広島市映像文化ライブラリー、広島市立大学科研費基盤研究©「冷戦初期における米国核政策と被爆者・ヒバクシャ情報」、ひろしま女性学研究所、space ZERO

助成：公益財団法人広島平和文化センター、国際交流・協力補助金交付事業

#### ◆「ヒロシマ平和映画祭」について◆

1945年8月6日の出来事は世界中の映像作家たちを揺さぶり、ヒロシマをテーマにした膨大な映像作品が今も作られ続けています。国内外からも撮影クルーが頻繁に広島を訪れ、広島の住民もそれに出演するなどして撮影に協力しています。被爆という一つの出来事を焦点として、これほど数多く、かつ長期にわたって映像で語られ続ける都市というのは、おそらく類例がないでしょう。

そのような広島を見つめ直し、映像を見る経験をつうじて「平和」を再考しようと、映画を愛する市民の手によって2005年から二年に一度開催されているのがヒロシマ平和映画祭です。過去3回開催された映画祭では、いずれも延べ2500人以上が参集。広島の街から発信するだけでなく、各地との交歓の可能性を模索しています。

#### プレスリリースの内容に関するお問い合わせ先

〒730-0001 広島市中区白島北町16-25 ひろしま女性学研究所気付

ヒロシマ平和映画祭実行委員会 代表：青原さとし

Tel：080-6306-8689 Fax:082-211-1761

◆ヒロシマ平和映画祭2011公式HP◆ <http://hpff2011.untokosho.com/index.html>

◆公式ブログ◆ <http://blog.goo.ne.jp/hpff2009> ◆Twitter◆ <http://twitter.com/#!/hpff2011>

Email：[hpff2009@mail.goo.ne.jp](mailto:hpff2009@mail.goo.ne.jp) 担当（塩出・坪原）